

風流印字

●発行 (株)和歌山印刷所
 ■本社
 〒640-8412 和歌山市狐島609-9
 TEL.073-451-4111 FAX.073-452-2631
 ■東京営業所
 〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル 3階
 TEL.03-6658-8440 FAX.03-6658-8441
 ●発行年月日 2021年10月1日

早いものでもう10月、今年も残すところあと3か月です。
 こんにちは！和歌山印刷所、通称「わいん」です。
 日本の未来を決める「選挙」には印刷業界も深く関わっています。
 今月号は「選挙とユポポスター」についての特集です。

■衆議院議員総選挙

もうすぐ衆議院議員総選挙(衆院選)があります。選挙といえばポスターや広報チラシ・名刺など印刷会社としても目が離せません。
 街頭で見かける選挙ポスターですが、使用されている材質やインキが普通のポスターと異なることはご存じでしょうか？



■選挙ポスターの材質

選挙ポスターに使用されている紙は、「ユポ」に代表される合成紙です。木材パルプではなくポリプロピレン等を主原料にしており、いくつか種類があります。耐水性が高く、破れにくいので、選挙ポスターのように風雨にさらされる屋外での使用にぴったりです。

また、ウラ面がタックシールになっている種類を使用し、剥離紙を取ればすぐに貼り付けられるようにしている場合もあります。

■選挙ポスターのインキ

選挙ポスターは通常のインキではなく、^{たいこう}耐候インキを使用して印刷されています。長期間貼っていたキャンペーンポスターや、本の背表紙が色あせているのを見た経験はありませんか？ 太陽光等に含まれる紫外線は、インキの成分を分解してしまうので、通常のインキだと色の変化が起きてしまいます。そこで、選挙ポスターでは紫外線への耐久性を向上させた耐候インキを使用し、掲示中にポスターの色が変わらないようにしているのです。

■衆院選の投票はまもなく

現職や候補者が写った単独ポスターだけでなく、有力政治家と並んで写る2連や3連のポスターを見かけることもあります。これは、現職の任期満了が近づくと、公職選挙法で現職の単独ポスター掲示が禁止されるためです。衆議院議員の任期満了は10月21日。ぜひあなたの清き一票を投じに行きましょう。

総務3人娘がお届けする

わいわいインタビュー



私たち総務3人娘が、社員の経験談を毎月レポートします。今月のゲストは、出力部の小島 良太さんです！



■仕事で得た達成感は何ですか？

出力作業とオンデマンド印刷作業のどちらもたくさん入稿された時に、どちらもスムーズに作業が出来て、予定時間内に終わったときに達成感があります。

■苦勞したエピソードはありますか？

印刷枚数が多い仕事で夜遅くにオンデマンド機で印刷中、これが終わったら帰ろうという時にオンデマンド機のサーバーが壊れて動かなくなった時です。次の日、続きの作業もできず修理に昼過ぎまでかかったことがあり苦勞しました。

■つらかったことを乗り越えた工夫って？

オンデマンド機の故障やトラブルになるべく対応していけるよう、納期・印刷予定に関係なくデータと用紙が揃った時点で、できる限り作業して時間的余裕を取れるようにしておくことです。



出力部
小島 良太さん
(入社19年目)

わいんでオンデマンド印刷のことと言えば小島さん。いつも作業ありがとうございます！



印刷業界の難解「あるある」を紹介!

あるある印刷では、難解な事件(トラブル)が発生している。今日もまた、天然系工場長のもとに新たな相談が持ち込まれるのであった…。

あるある印刷の事件簿



事件ファイル20 「見当ズレ」

営業マン:「工場長、大変です。冊子の見本を見ていたら文字がぼやけているところを見つけました!」

工場長:「すぐにその印刷物を持ってこい!」

営業マンがそそくさと持ってきた。

営業マン:「このページの文字、なんだか輪郭がぼやけているんです。」

工場長:「これは見当ズレだな。」

営業マン:「見当ズレ?」

工場長:「カラー印刷では4色のインキで印刷するだろう?その時に版の位置が揃っていないくて、うまく印刷できていないんだ。」

営業マン:「印刷の時の版がズレておかしくなっているんですね。」

工場長:「そういうことだ!今日は徹夜で作業すれば、なんとか間に合うから、みんなで頑張ろう!」

営業マン:「とほほ・・・(涙)」

こんな
トラブル

わいんの対策はこれ!

見当ズレとは印刷時に版の位置合わせが正常に行われておらず、特定の色版の位置がズレていることを言います。版ズレと呼ばれることもあります。そのほかにも気温や湿度の影響で紙が伸縮してズレることがあり、見当ズレと一口に言っても様々な要因があります。日によって状況が違ふことから「印刷は生き物」と言われることがあるほどです。

わいんでは印刷技能士とディレクターが最終チェックを必ず行い、複数の目で確認することにより印刷での見当ズレの対策をしています。また印刷前の用紙はストレッチフィルムでラップすることにより湿気対策を行なっています。

見当ズレ(版ズレ)が発生していると…

和歌山印刷所

文字がぼやけたように見えてしまいます。

和歌山印刷所

正常に印刷された場合



走れ、営業マン!!



実家はみかん農家

向井友祐(営業部:27歳)です!

次第に涼しくなり、過ごしやすい季節になりました。毎年この時期になると実家では、みかん収穫に向け慌ただしくなります。みかん畑は広いので、知人に助けをもらいながら朝早くから夕方まで収穫します。土日都合が合う日は手伝ったりもしますが、これがかなり辛いです(汗)。冬にコタツに入ってTVを観ながら、美味しいみかんを食べられるように今年も豊作を祈ります。



山登りにチャレンジ!

出口昌也(営業部部長:55歳)です!

毎日1時間のウォーキングでは物足りなくなり、ついに山登りに行ってきました。和歌山と大阪の境にある紀泉アルプス単独初登頂に成功しました!と言っても標高400mの低山ですが、往復3時間半、「このルートで間違いないよね」と内心ドキドキしながらも良い汗を流しました。今週末も近所のオヤジ仲間を誘って登りに行きます。これから靴やリュックに凝ってしまおう予感。ああ、またお金かかりそうだあ~!



【わいんニュースレター】アンケート応募はこちら

ニュースレターのご感想などがありましたら下記のQRコードからご応募ください。

ご応募いただいた方の中から抽選でクオカード(500円分)をプレゼントいたします。



COCOAR

【AR動画 新企画】

今話題のARを体感できます

「あるある印刷の事件簿」の横にあるイメージイラストをARアプリ【COCOAR】で読み取るとアニメーションが再生されます。

AR動画をご覧いただくには、専用アプリが必要となります。無料ARアプリ【COCOAR】を右のQRコードでダウンロードしてからお楽しみください。



編集後記

ファイザー社製ワクチンを2回接種してきました。1回目の副反応は片腕が上から下まで赤くなりましたが、2回目は熱・頭痛・関節痛で丸一日ダウンしていました。ただ、翌日には嘘のように回復したのでホッとしています。

しかし、2回目の接種を終えたからといって、すぐに抗体が機能するわけではないと聞きます。また、ワクチンはあくまで発症を抑えるだけで、感染自体を予防するわけではないそうです。結局、感染しない・させないために私ができることは、ワクチン接種前と変わりませんね。気温が下がると体調を崩しやすいので、皆さまどうぞご自愛ください。

(編集長: 椿原健太)